

Eco Action21

環境経営レポート 2024

活動期間：2023 年 5 月 ～ 2024 年 4 月



株式会社 斉藤組

2024 年 7 月 1 日

Eco Action21

環境経営レポート 2024

1. 環境経営方針
2. 会社概要
3. 環境経営実施体制
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画書
6. 環境経営計画の実施状況
7. 今後の環境経営計画の見直し
8. 緊急時の環境経営対応方法について
9. 環境関連法規の取りまとめ
10. 代表者による環境経営計画見直し



2024年 7月 株式会社 斉藤組

1. 環 境 経 営 方 針

【 基 本 理 念 】

株式会社齊藤組は地域貢献への社会的責任を果たすため、主要事業である土木、建築舗装を主とする建設業での分野はもとより、年々深刻化する地球温暖化や資源の枯渇を重要な課題と認識し、事業を通し、これら環境問題改善に寄与する自主的取組みと継続的改善を全社一丸となって取り組んで参ります。

【 行 動 指 針 】

1. 事務所・作業現場で使用する電気、燃料、紙、水の使用量削減に努め、二酸化炭素排出の削減に取り組めます。
2. 作業現場においては、環境に配慮した施工やICTの活用による人工削減・工期短縮、生産性の向上に努めます。
3. 建設廃棄物の発生抑制、削減、分別、リサイクル化に努めます。
4. 環境関連法規等の遵守に努め、環境に優しい事業運営に努めます。
5. 建設資材や事務用品等購入の際は、グリーン商品を積極的に購入します。
6. 全社員に環境経営方針を周知徹底し、定期的な環境教育活動を実施します。
7. 環境経営レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にします。

制定日：2020 年 1 月 10 日



株式会社齊藤組

代表取締役社長 齊藤 稔

2. 会 社 概 要

■名称及び所在地：株式会社 齊 藤 組
本 社 静岡県伊東市宇佐美1842番地
資材倉庫 ①静岡県伊東市番地の1542番地の2
②静岡県伊東市宇佐美3478番地の2
③静岡県伊東市宇佐美字大山3500番地の1

■代 表 者：代表取締役社長 齋 藤 稔

■事 業 内 容：総合建設業及びこれに付帯する業務
【建設業許可業種 静岡県知事許可（特-2）第6957号】
土木、建築、大工、とび・土工、石、屋根、タイル・
れんが・ブロック、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、
内装仕上、造園、水道施設、解体工事業
【産業廃棄物収集運搬許可証 第02201045461号】
自社運搬のみ

■事 業 年 度：毎年 5 月 1 日 ～ 翌年 4 月 3 0 日

■事 業 規 模：会社設立 1953 年 7 月 3 0 日
資 本 金 3,000 万円
事 業 規 模

指 標	単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度
工事件数	件	74	62	62
売上高	百万円	1,406	1,850	744
従業員数	人	49	49	49
事務所床面積	m ²	487.34	487.34	487.34
資材倉庫床面積	m ²	5,662	5,662	5,662

■環境管理責任者氏名及び担当者連絡先：

環境管理責任者	総務部 部長 浅田 俊文	TEL	0557-48-9330
担 当 者	総務部 関谷 真由美	FAX	0557-48-8890
		E-mail	saitougumi@cronos.ocn.ne.jp

■会 社 の 特 徴：総合建設業
(土木・建築・舗装・しゅんせつ)

■認 証 範 囲：全組織、全活動

■ 自社建設副産物のリサイクルについて

自社元請け工事分で発生した建設副産物について、一部自社工程で再資源化し
自社元請け建設工事にて再使用しています。

- 1、 再資源化対象建設副産物：コンクリート殻及びA s ・ C o 殻
- 2、 建設副産物再資源化フロー図

自社元請け工事

コンクリート殻
A s ・ C o 殻



自社工程

破碎・分級

(日産能力:100t)



外部検査機関にて検査

再生材検査
・ 認定

・ 外部機関:ジーベック

・ 静岡県熱海土木事務所:1回/年立合い

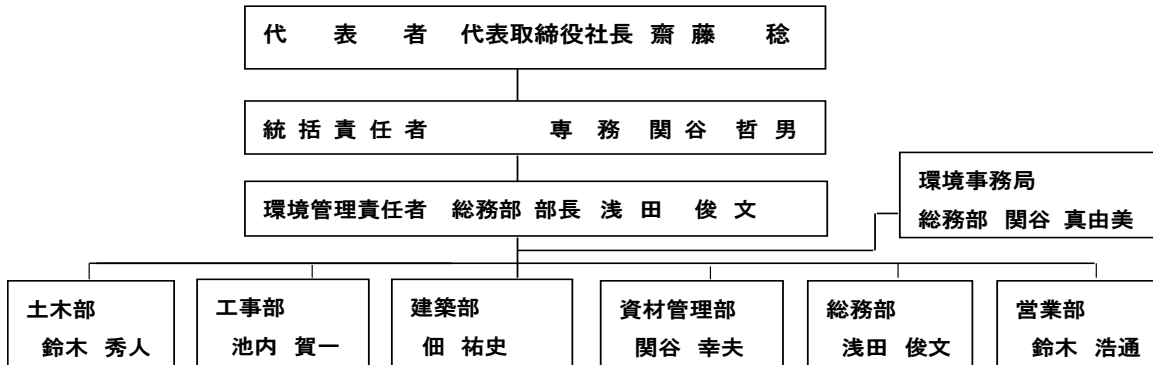


自社元請け

再生材使用

3. 環境経営実施体制

【 環境経営実施体制 】



【 職掌ごとの役割・権限分担表 】

担 当	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者 代表取締役 齋藤 稔	・ 環境経営方針の制定、改定及び全社員への周知 ・ 環境管理責任者の任免を行う ・ 資源（人材、資金、技術）の用意を行う ・ 当社環境経営方針の制改定並びに環境経営システムの承認 ・ 毎年の全体評価及び見直しを行う。 ・ 経営の課題とチャンスの明確化
統括責任者 専務 関谷 哲男	・ 環境経営システム全体の確認
環境管理責任者 総務部 部長 浅田 俊文	・ 環境経営システム全体構築、運用、維持管理に拘わる実務上の権限を有し、代表者に逐一報告を行う。 ・ 環境経営システムの構築、実施並びに運用管理 ・ 環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改定の指示
環境事務局 総務部 関谷 真由美	・ エコアクション 21 における各種文書作成 ・ 環境経営目標並びに環境経営計画案の作成 ・ 環境法規取りまとめ及び遵守状況の確認 ・ 事故並びに緊急事態の想定結果や対応策の策定及び改定 ・ 環境経営システムにかかる苦情・要望の受付及び整理 ・ 環境経営レポートの作成
各部門 部門長	・ 各部門での環境経営の実施 ・ 各部門における環境経営の記録、問題点のチェック並びに措置 ・ 緊急事態の施行及び訓練実施
全社員	・ 環境経営方針の確認並びに理解 ・ 各職掌における環境経営の実施

4. 環境経営目標の設定

【単年目標】

2023年度（第70期）目標	項 目		単 位	基 準 値 (2022年度実績)	2023年度 目 標	
	二酸化炭素排出量		kg-co2	205,705	204,676 (-0.5%)	
	エ ネ ル ギ ー	購入電力		kWh	49,594	49,346(-0.5%)
		化 石 燃 料	ガソリン使用量	ℓ	24,677	24,554 (-0.5%)
			軽油の燃費	ℓ /h	4.4 (13,245 ℓ)	現状維持(実績把握)
			ガス使用料	kg	437	実績把握
	建設副産物の発生量		t	4,556	実績把握	
	自社工程副産物のリサイクル率		%	78.5% (3,574 t)	65%以上(実績把握)	
	水使用量の削減		m3	266	実績把握	
	工事に関わる環境クレーム		件	0	0	
	ICT施工現場		件	0	1	

【中長期目標】

中 長 期 目 標	項 目			単 位	2024年度 目 標	2025年度 目 標
	二酸化炭素排出量			kg-co2	-1.0%	-1.5%
	エ ネ ル ギ ー	購入電力		kWh	-1.0%	-1.5%
		化 石 燃 料	ガソリン使用量	ℓ	-1.0%	-1.5%
			軽油の燃費	ℓ /h	現状維持 (実績把握)	現状維持 (実績把握)
			ガス使用料	kg	実績把握	実績把握
	建設副産物の発生量			t	実績把握	実績把握
	自社建設副産物のリサイクル率			t	65%以上 (実績把握)	65%以上 (実績把握)
	水使用量の削減			m3	実績把握	実績把握
	工事に関わる環境クレーム			件	0	0
	ICT施工現場			件	1	1

★建設副産物の発生量は工事の量、内容で変化するため実績把握とした。

★自社元請け分で発生する建設副産物について一部自社工程で再資源化を実施しているので新たに自社工程でのリサイクル率を目標化した。

★環境への影響度が強い上記項目にて集計をしますが、別途項目の必要性を随時検討し、必要に応じて項目を追加し、目標を立てます。

★一般廃棄物については発生量が少なく、これ以上の削減が難しい為、目標を設定せずに現状維持とした。

環境経営目標の達成状況・実施状況及び評価

【 環境経営目標の達成 実績値 】

項 目			単 位	2023年度 実 績	2023度 目 標	目標－実績 (%)	評 価
二酸化炭素排出量			kg-co2	197,603	204,676	-3.5%	○
エ ネ ル ギ ー	購入電力		kWh	39,669	49,346	-19.6%	○
	化 石 燃 料	ガソリン使用量	ℓ	24,765	24,554	0.9%	×
		軽油の燃費(総量)	ℓ /h	4.4 (13,493)	現状維持 (実績把握)	-----	○
		ガス使用料	kg	104	実績把握	-----	---
建設副産物の発生量			t	1,528	実績把握	-----	---
自社工程副産物のリサイクル率			%	87.9 (1,343t)	65%以上 (実績把握)	-22.9%	○
水使用量の削減			m3	204	実績把握	-----	---
工事に関わる環境クレーム			件	0	0	100.0%	○
ICT施工現場			件	1	1	100.0%	○

※電力二酸化炭素変換係数0.457 (2022年度)

【 全体を通しての評価 】

光熱費に関しては、工事件数は同じだが、工事量が少ない為減少となった。

ガソリン使用量の増加に関しては、コロナ対策・熱中症対策として個々の車内において休憩を取った事などが増加の原因と思われる。

ガソリン・軽油に関しては、社員全員がアイドリングストップ等を心がけることで燃費の低減につなげ、無駄のない運転等を推奨していく事とする。

【 取組み状況 】

社員の意識の高揚のため、朝礼及び現場での始業時の打合せや
工程会議において周知徹底を繰り返し行なっております。
更なる取り組み強化を図っていきます。

5. 環境経営計画(2023年度)

重要実施事項

重点項目	取組内容	担当者	備考
1.【Co2排出量の削減】			
電力を抑制する	・事務所内は昼休みに消灯をする	全員	12～13時の1時間
	・照明,OA機器は使用時以外、電源オフにする	全員	
	・エアコンの設定温度を見直す(夏27℃、冬20℃)	全員	
	・効率の良い業務で残業・休日出勤を抑制する	全員	
	・「節電」を掲示し、社内啓発を図る	全員	
燃料使用量を抑制する	・アイドリングオフを推進する	運転者	
	・車両、機械器具の新規導入の場合には低燃費の物を採用する	総務部	
	・効率良い施工を心がけ、工期短縮に努める	現場担当者	工事期間内
	・現場に出入する業者に上記事項の協力を依頼する	現場担当者	工事期間内
2.【廃棄物排出量の削減】			
一般廃棄物を削減する	・裏紙を利用し、紙使用総量を削減する	全員	
	・複数枚印刷するときは両面印刷を心がける	全員	
	・社内間のデータのやり取りは電子媒体を活用し、印刷を控える	全員	
	・封筒等再利用出来るものは捨てずに再利用する	全員	
産業廃棄物を削減する	・使用材料にロスの出ない施工方法を考え、廃棄物の削減を図る	現場担当者	工事期間内
	・協力業者に、廃棄物を過剰に出さないように指導する	現場担当者	工事期間内
	・マニフェスト活用により適正処理に努める	現場担当者	工事期間内
3.【総排水量の削減】			
上水道使用量を削減する	・事務所内の洗い物はまとめて洗い、使用水量を削減する	全員	
	・節水に関する水廻り製品購入を検討する	総務部	
4.【社会貢献活動へ参加】			
地域の清掃・美化活動	・現場周辺の道路清掃活動を実施する	現場担当者	
	・事務所及び事務所周辺の清掃活動を実施する	本社職員	
	・海岸清掃活動を実施する	本社職員 現場担当者	
	・地域ボランティア活動に参加する	本社職員 現場担当者	
5.【エコアクション21の推進】			
見直し及びレポート	・エコアクション21の運用状況を年2回検証し、事業年度終了時に環境活動レポートを作成する	環境管理責任者	
進捗状況確認及び教育	・推進委員会を3ヶ月に1回開催し、状況確認を行うとともに、教育活動を行う	環境管理責任者	
6.【その他】			
ICT施工現場	・工事施工時の提案により、ICT施工を取り入れるように努める	現場担当者	
工事に関わる環境クレーム	・騒音・振動を出来るだけ出さない機械を使用する 一般道に土砂が流れないように施工する	現場担当者	
再生材の積極使用	・路盤材等の再生材使用を積極的に検討する	現場担当者	工事期間内

7. 環境経営計画の取組結果と評価及び次年度の取組内容

期間：2023年5月～2024年4月

評価：○良好 △更なる取組を要する ×不十分

重点項目	取組内容	担当者	取組結果	評価	今後の取組内容
1. 【Co2排出量の削減】					
電力を抑制する	・事務所内は昼休みに消灯をする	全員	徹底できた	○	継続実施
	・照明、OA機器は使用時以外、電源オフにする	全員	徹底できた	○	継続実施
	・エアコンの設定温度を見直す(夏27℃、冬20℃)	全員	ステッカーを貼り、徹底できた	○	継続実施
	・効率の良い業務で残業・休日出勤を抑制する	全員	徹底できた	○	継続実施
	・「節電」を掲示し、社内啓発を図る	総務部	ステッカーを貼り、徹底できた	○	継続実施
燃料使用量を抑制する	・アイドリングオフを推進する	運転者	徹底できた	○	継続実施
	・車両、機械器具の新規導入の場合には低燃費の物を採用する	総務部	徹底できた	○	継続実施
	・効率良い施工を心がけ、工期短縮に努める	現場担当者	一部できていない	△	完全実施を目指す
	・現場に出入する業者に上記事項の協力を依頼する	現場担当者	一部できていない	△	完全実施を目指す
2. 【廃棄物排出量の削減】					
一般廃棄物を削減する	・裏紙を利用し、紙使用総量を削減する	全員	裏紙場所を決め、周知できている	○	継続実施
	・複数枚印刷するときは両面印刷を心がける	全員	徹底できた	○	継続実施
	・社内間のデータのやり取りは電子媒体を活用し、印刷を控える	全員	一部出来ない部分あり	△	継続実施
	・封筒等再利用出来るものは捨てずに再利用する	全員	定着化している	○	継続実施
産業廃棄物を削減する	・使用材料にロスの出ない施工方法を考え、廃棄物の削減を図る	現場担当者	定着化している	○	継続実施
	・協力業者に、廃棄物を過剰に出さないように指導する	現場担当者	定着化している	○	継続実施
	・manifest活用により適正処理に努める	現場担当者	適正処理している	○	継続実施
3. 【総排水量の削減】					
上水道使用量を削減する	・事務所内の洗い物はまとめて洗い、使用水量を削減する	全員	節水シールで周知	○	継続実施
	・節水に関する水廻り製品購入を検討する	総務部		—	
再生材の積極使用	・路盤材等の再生材使用を積極的に検討する	現場担当者	積極的に使用している	○	継続実施
4. 【社会貢献活動へ参加】					
地域の清掃・美化活動	・現場周辺の道路清掃活動を実施する	現場担当者	実施している	○	継続実施
	・事務所及び事務所周辺の清掃活動を実施する	本社職員	毎日の清掃活動	○	継続実施
	・海岸清掃活動を実施する	本社職員 現場担当者	参加した	○	継続実施
	・地域ボランティア活動に参加する	本社職員 現場担当者	参加した(河川清掃)	○	継続実施
5. 【エコアクション21の推進】					
見直し及びレポート	・エコアクション21の運用状況を年2回検証し、事業年度終了時に環境活動レポートを作成する	環境管理責任者	7月1日作成	○	継続実施
進捗状況確認及び教育	・推進委員会を3ヶ月に1回開催し、状況確認を行うとともに、教育活動を行う	環境管理責任者	7・10・1・4月開催	○	継続実施
6. 【その他】					
ICT施工現場	・工事施工時の提案により、ICT施工を取り入れるように努める	現場担当者	1件有り(烏川砂防)	○	継続実施
工事に関わる環境クレーム	・騒音・振動を出来るだけ出さない機械を使用する 一般道に土砂が流れないように施工する	現場担当者	徹底できた	○	継続実施
再生材の積極使用	・路盤材等の再生材使用を積極的に検討する	現場担当者	積極的に使用している	○	継続実施

外部からの苦情等の受付表

No.	情報入手日	情報種類	内 容 詳 細	情報源	入手方法	回答の必要性	対 応 内 容
1		(対策/苦情)	外部からの苦情はありませんでした		(TEL/メール)	(必要/不要)	
2		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
3		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
4		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
5		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
6		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
7		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
8		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
9		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	
10		(対策/苦情)			(TEL/メール)	(必要/不要)	

問題点の是正処置及び予防処置

対 象 項 目	原 因	是正処置及び予防処置
ガソリン使用量の増加	片道30分程の遠い現場が いくつか有った為 休憩時間を個々の車内で取った 為	現場の事務所内において 休憩を取る 各現場に熱中症対策を実施 出来る簡易事務所を設置する

環境関連法規等の取りまとめ



環境関連法規制の遵守状況評価

法規・条例・規制	適用範囲又は要求事項・責務	当社の対応	遵守状況
■ 産業廃棄物処理・リサイクル法規関連 ■			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	【産業廃棄物 収集運搬処理委託契約】 ・収集・運搬・処理業務の委託契約 ・収集運搬、処分業者許可証の確認 ・他業者への搬入分が 1,000t 以上	・委託先の許可状況を確認 ・処理施設等の現地確認 ・委託契約を締結し、契約書を 5 年間保存 ・報告書の策定マニュアルに従い、必要があれば多量排出業者の届出を提出	○
	【マニフェスト発行・管理・報告】 ・交付、記載、虚偽記載の禁止 ・回収、照合、返却 ・毎年の交付状況報告	・A、B2、D、E 票を 5 年間保存 ・B 票は 90 日、E 票は 180 日以内に返却 ・前年度交付実績を 6 月 30 日までに報告	○
	※水銀含有廃棄物の取扱い	・解体時における水銀取扱い保管、引き渡し	○
建設リサイクル法	【発注者への計画説明】 特定建設資材を使用する I) 解体工事 80m ² 以上 II) 新築・増改築 500m ² 以上 III) 修繕・模様替え工事 1 億円以上 IV) 土木工事等 500 万円以上	・発注者に対して以下の計画等を書面にて説明 ※分別解体等の方法 ※再資源化等の促進 ※再生資源の使用状況	○
労働安全衛生法 (石綿障害予防規則)	【石綿の除去】 ・解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業(封じ込め、囲い込み作業等) 【アーク溶接・ヒューム対策】 【高所作業の落下防止対策】	・労働基準監督署に建築工事計画届を提出 (レベル 1: 作業開始 14 日前、レベル 2: 作業開始前までに届出) ・作業主任者の選定 ・作業環境測定の実施(6 ヶ月以内ごとに 1 回) ・健康診断、指定マスクの着用、換気 ・フルハーネスの着用	○ ○ ○ ○ ○ ○
振動騒音規制法	・特定建設作業(杭打ち、鋪設版破砕機)を伴う工事の施工時に届出を行う	・着工 1 週間前までに市町に届け出	該当なし
消防法	・危険物取扱所	・消防署へ設置許可の申請 ・点検の実施	済 ○
浄化槽法	・浄化槽の適切な維持管理	・年 1 回指定業者にて検査の実施	○
■ 事業者全般として遵守する事項 ■			
環境基本法	・事業活動に伴う公害発生の防止、事前環境を適切に保全する措置を講ずる ・廃棄物の適正・適法処理 ・再生資源等の利用	・エコアクション 21 に積極的に取り組む	○

法規・条例・規制 ⁴⁾	適用範囲又は要求事項・責務 ⁴⁾	当社の対応 ⁴⁾	遵守状況 ⁴⁾
■ 事業者全般として遵守する事項 ■ ³⁾			
地球温暖化 ⁴⁾ 対策推進法 ⁴⁾	・温室効果ガスの抑制 ⁴⁾ ・国、地方公共団体が実施する温室効果 ガス排出の抑制にかかる施策に協力す る ⁴⁾	・エコアクション 21 に積極的に取り組む ⁴⁾	○ ⁴⁾
グリーン購入法 ⁴⁾	・物品購入等に伴い、負荷の少ない環境 物品等購入に努める ⁴⁾	・再生品、エコマーク製品の購入に努める ⁴⁾	○ ⁴⁾
家電リサイクル法 ⁴⁾	・テレビ、エアコン、電気冷蔵庫・冷凍庫、電気洗 濯機、衣類乾燥機の廃棄 ⁴⁾	・左記廃棄物が出たときは小売店で料金を引 き渡す ⁴⁾	○ ⁴⁾
PCリサイクル法 ⁴⁾	・使用済パソコン、モニターの廃棄 ⁴⁾	・メーカーへの回収依頼 ⁴⁾ ・廃棄パソコン、モニターを回収業者に引き渡し ⁴⁾	○ ⁴⁾
建設業法 ⁴⁾	・建設業者としての5年毎の登録更新 ⁴⁾	・知事への申請 ⁴⁾	○ ⁴⁾
河川法 ⁴⁾	・各種申請手続の適正処理 ⁴⁾ ・工事基準の遵守 ⁴⁾	・各種官庁への届出 ⁴⁾	○ ⁴⁾
道路法 ⁴⁾	・各種申請手続の適正処理 ⁴⁾ ・工事基準の遵守 ⁴⁾	・各種官庁への届出 ⁴⁾	○ ⁴⁾
海洋汚染等防止法 ⁴⁾	・海洋汚染の防止 ⁴⁾	・油、また廃棄物の排出による海洋汚染及び ⁴⁾ 海上災害の防止に努める ⁴⁾	○ ⁴⁾
伊東市一般廃棄物 に関する条例 ⁴⁾	・分別排出 ⁴⁾	・指定日、指定場所への排出 ⁴⁾	○ ⁴⁾
J I S 法 ⁴⁾ (フォスター基準) ⁴⁾	・建築工事に係る基準の遵守 ⁴⁾	・ホルムアルデヒド、クロルピリオス、石綿含 ⁴⁾ 有建材 ⁴⁾	○ ⁴⁾
学校環境衛生基準 ⁴⁾	・学校の新築、改築、改修工事における ⁴⁾ 濃度測定 ⁴⁾	・トルエン、キシレン等のVOC対象化学薬品 ⁴⁾	○ ⁴⁾
静岡県生活環境の ⁴⁾ 保全等に関する ⁴⁾ 条例 ⁴⁾	・騒音、振動基準の遵守義務 ⁴⁾ ・騒音、振動特定施設の届出 ⁴⁾	⁴⁾	○ ⁴⁾
静岡県産業廃棄物 ⁴⁾ の適正な処理に関 ⁴⁾ する条例 ⁴⁾	・産業廃棄物管理責任者の設置 ⁴⁾ ・委託先の現地確認と記録の保存 ⁴⁾	⁴⁾	○ ⁴⁾
建築基準法 ⁴⁾	・各種申請手続の適正処理 ⁴⁾ ・工事基準の遵守 ⁴⁾	・各種官庁への届出 ⁴⁾	○ ⁴⁾
フロン排出抑制法 ⁴⁾	・点検の実施 ⁴⁾ ・廃棄時指定業者への引き渡し ⁴⁾	・3ヶ月ごとの簡易点検の実施 ⁴⁾	○ ⁴⁾

★ 違反、訴訟等の有無⁴⁾

関係機関からの指摘、訴訟は過去3年間ありませんでした。⁴⁾

★ 当事業所に適用される法規制を評価した結果問題はありませんでした。⁴⁾

評価日 2024年6月28日⁴⁾

10. 代表者による全体評価及び見直し結果

			代 表 者	責 任 者
作成日：2024年 7月 1日				
見 直 し 関 連 情 報	項 目		確 認：必要に応じて評価・コメントを記載	
	1	エコアクション21文書	☐ ：作成しました	
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☐ ：目標未達成項目あり	
	3	環境経営計画及び取組み実施状況	☐ ：継続します	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☐ ：継続します	
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☐ ：外部からの苦情はありません	
	6	問題点の是正、予防措置の実施状況	☐ ：作成しました	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☐ ：特にありません	
	8	その他（ ）	☐ ：無し	
代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	全体評価・コメント 環境経営システムの有効性、 環境への取組みの適切性等		僅かにガソリン使用量が達成できなかった為、「アイドリングストップ」や「運転席から降りるときは必ずエンジンを止める」等の徹底を行う事や、ガソリン使用に頼らない熱中症対策を徹底する事で燃費の削減を目指していく。 今後も、計画的に燃費の良い車輛・機械を導入し、燃費の削減と共に工事の効率化を図っていきたい。 また、全社員への意識付けを更に強化し、目標に向かって進んでいきたい。	
	見 直 し 項 目		有／無	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	無	
	2	環境経営目標・計画	無	
	3	環境経営計画・取組項目	無	
	4	環境に関する組織	無	
	5	その他のシステム要素	無	
	6	その他（外部への対応等）	無	